

7. 生産・出荷・在庫

生産は、一部に弱さがみられ、おおむね横ばいとなっている。

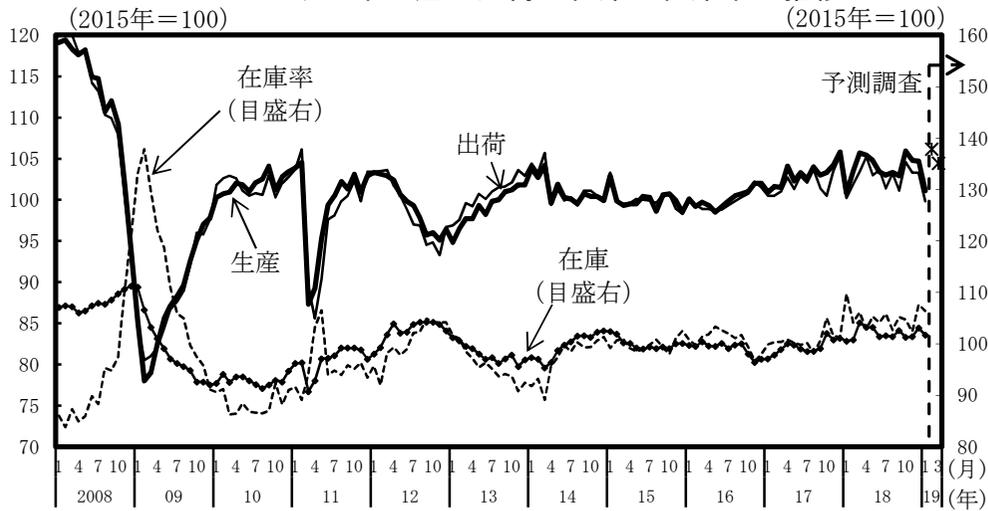
(%)

	[2017年] 2017年度	[2018年] 2018年度	2018年 4－6月期	7－9月期	10－12月期	2018年 11月	12月	2019年 1月
鉱工業生産指数	[3.1] 2.9	[1.0] -	(1.2) 1.2	(▲ 1.3) ▲ 0.1	(1.9) 1.2	(▲ 1.0) 1.5	(▲ 0.1) ▲ 1.9	(▲ 3.4) 0.3
鉱工業出荷指数	[2.5] 2.2	[0.7] -	(2.1) 1.6	(▲ 1.9) ▲ 0.5	(1.8) 1.0	(▲ 1.2) 0.9	(0.0) ▲ 3.1	(▲ 3.4) ▲ 0.4
鉱工業在庫指数	[4.1] 5.2	[1.9] -	(▲ 2.6) 2.4	(1.2) 3.5	(0.5) 1.9	(0.1) 0.6	(1.7) 1.9	(▲ 1.4) 1.3
製造工業生産能力指数 (2015年=100)	[99.3] 98.8	[98.8] -	98.5	98.6	98.8	98.9	98.8	98.8
製造工業稼働率指数 (2015年=100)	[102.3] 102.7	[103.0]	(103.2)	(101.4)	(105.3)	(106.3)	(104.3)	(99.4)
第3次産業 活動指数	[0.8] 1.1	^P [1.0] -	(0.8) 1.1	(▲ 0.5) 0.5	^P (1.0) ^P 1.3	(▲ 0.3) 1.3	^P (▲ 0.5) ^P 0.4	^P (0.4) ^P 1.1

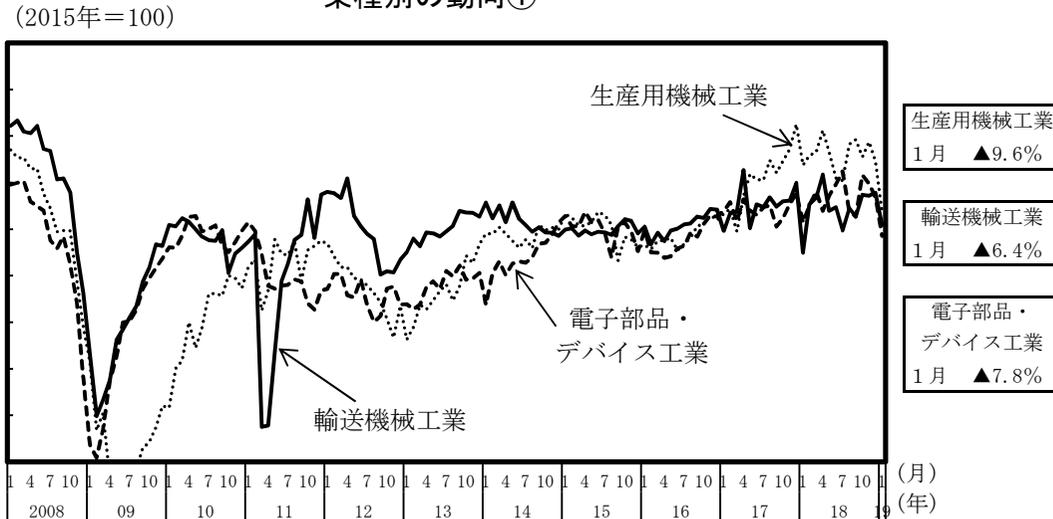
予測調査
2月 5.0%
3月 ▲1.6%

- (備考) 1. 経済産業省「鉱工業指数」「製造工業生産予測調査」「第3次産業活動指数」により作成。Pは速報値。
2. 鉱工業生産・出荷・在庫指数、第3次産業活動指数の暦年・年度の下段は前年度比、上段の [] 内は前年比。四半期・月次の下段は前年同期(月)比、上段の () 内は季節調整済前期(月)比。
3. 製造工業生産能力指数の暦年・年度の下段は原数値(年度)、上段の [] 内は原数値(暦年)。四半期次・月次は原数値。
4. 製造工業稼働率指数の暦年・年度の下段は原数値(年度)、上段の [] 内は原数値(暦年)。四半期次・月次は季節調整値。

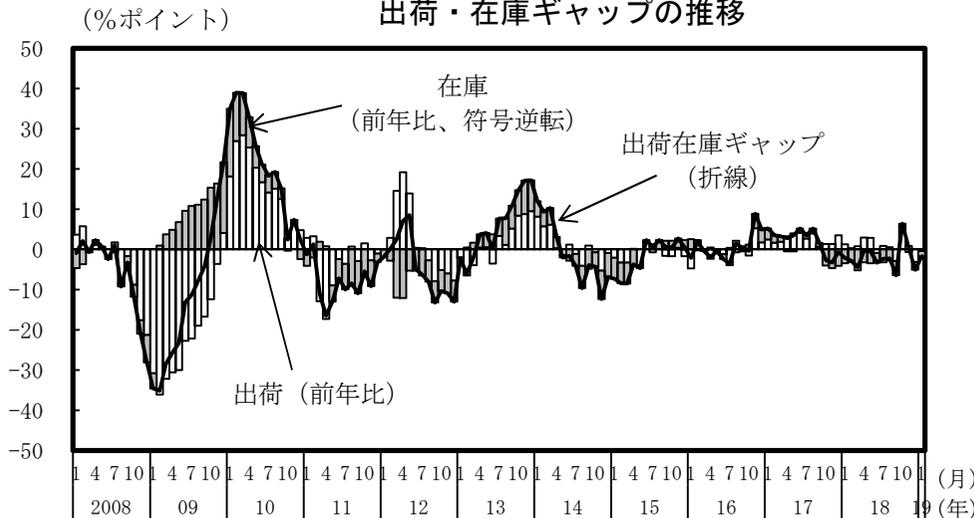
鉱工業生産・出荷・在庫・在庫率の推移



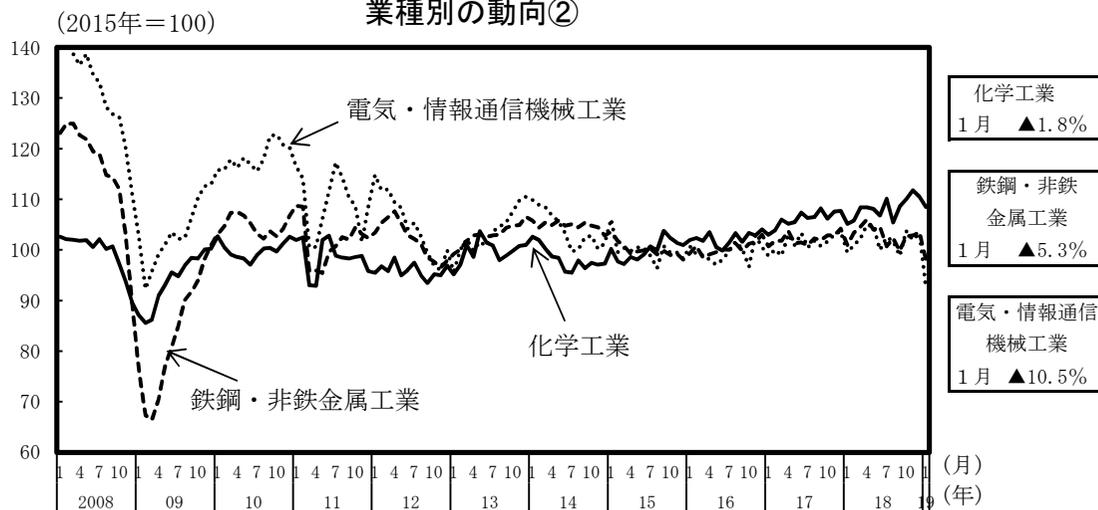
業種別の動向①



出荷・在庫ギャップの推移



業種別の動向②



(備考) 経済産業省「鉱工業指数」により作成。出荷・在庫ギャップ=出荷(前年比) - 在庫(前年比)